



宮城大学食産業ニューズレター

～令和3年9月号～

本ニューズレターは 2021.9.13現在の状況に基づき執筆しています。

9月27日からの後期授業開講にあたって

太白キャンパスでは、新型コロナウイルス感染予防対策に対する学生の皆さんの理解と協力により、無事に前期の学びを進めることができました。本当にありがとうございました。

さて、まもなく後期の授業が始まります。太白キャンパスは、後期授業についても前期と同様に、十分な感染予防対策を講じた上で「対面授業を中心に実施」する方針です。

このニューズレターでは、後期開始にあたっての注意点などをご案内しています。内容をよく確認して、後期授業に臨んでください。



○修学等に関すること

・後期授業実施について

太白キャンパス後期の授業開始は、学年暦どおり9月27日（月）となります。

（※大和キャンパスとは異なりますのでご注意ください。）

ただし、学生の健康管理期間及び遠隔授業の試行期間として、**後期授業開始後1週間については、「全ての授業を遠隔授業」とします。**

【遠隔授業期間】：9月27日（月）～10月1日（金）まで

【対面授業開始】：10月4日（月）～

また、遠隔ツール（TeamsもしくはZoomなど）は、授業によって異なりますので、各科目の授業実施情報は下記一覧ページから確認してください。

・授業実施情報の共有サイト

<https://myupjt.sharepoint.com/sites/lecture-information/Lists/2021aw/view.aspx>

なお、学年暦、時間割、履修の手引き等については、「学務管理システム」の“お知らせ”や学内メールから確認してください。

※今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の動向により、授業形態等を見直す場合もあります。

引き続き、学内メールやウェブサイト等による大学からの情報発信にご留意ください。

教科書販売について

9月17日より下記時間にて生協売店で教科書販売を開始します。

なお、遠隔授業期間は教科書を購入しなくとも授業に支障はありません。

◎9月17日～10月1日まで 販売時間：平日 11：30～13：30

◎10月4日～ 販売時間：平日 10：00～11：50、12：40～15：00

※10月4日～は昼の混雑を避けるため、11：50～12：40は教科書の販売は行いません。



教科書販売についてのお問合せ：太白生協売店 022-307-1048

○学内における感染予防対策と皆様へのお願い

①入構・通学時の感染予防対策

- ・毎朝、検温と体調チェックを行ってください。37.5℃以上の熱がある場合は通学せず、自宅で休養してください。
- ・通学中、大学構内では不織布のマスクを着用してください。未着用者の入構は禁止します。

②館内における感染予防対策について

- ・館内では、周りの人と間隔を空けて通行してください。
- ・エレベーターは、指定の利用定員を守り、間隔を空けて利用してください。
- ・学生ラウンジ等の座席は間隔を空けて設置するなど制限を設けています。設置されている場所から移動させないでください。

③講義室における感染予防対策について

- ・ソーシャルディスタンスの確保のため、講義室毎に人数上限の設定（文部科学省指針）と座席配置の見直しを行っています。
- ・定期的な換気（30分に1回）、消毒（1日1回）を行います。
- ・授業前に、各自使用する机の消毒にご協力ください。



○学内における遠隔授業の受講

- ・学内で遠隔授業を受講する場合は各自、ヘッドホン（イヤホン）をご準備ください。

- ・学内で遠隔授業を受講する場合は、空き教室（時間割で確認）か、「遠隔授業受講可能」と入口に表示している教室で受講してください。

ヘッドホン・イヤホンは貸出の用意はありません
ご注意ください



○公共交通機関の利用について

地下鉄・バス等の公共交通機関を使用して通学する方は、以下の点についてご協力をお願いします。
（仙台市交通局ウェブサイトより抜粋）

- ・マスクの着用などの咳エチケットをお願いします。
- ・必要のない会話はできるだけ控えるようお願いします。



○昼食時間の感染予防対策

- ① 食事中は「黙食」を心がけることで飲食に伴う感染リスクを抑制し、安心してみんなが飲食できる環境づくりにご協力ください。
- ② カフェテリアは座席数が限られているので、時差で利用するなど混雑を避け、食事が終わったら速やかに次の人へ席を譲ってください。
- ③ ソーシャルディスタンスを確保できるように椅子等を配置しています。
- ④ 食事の後は、使ったテーブル等の消毒にご協力ください。

○日常の感染予防対策について

①新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の登録・活用について

自分をまもり、大切な人をまもり、地域と社会をまもるために、接触確認アプリをインストールしましょう。

厚生労働省のウェブサイトはこちらから
(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html#app)

②「新しい生活様式」の実践について

皆さま自身や周りの方、そして地域を感染拡大から守るため、それぞれの日常生活において、自身の生活に合った「新しい生活様式」等の実践に引き続きご協力をお願いします。

特に、学内・学外どちらにおいても大人数での飲食は控え、感染リスクが高くなる場所は徹底して避けてください。

・内閣府ウェブサイト：感染リスクが高まる「5つの場面」

(<https://corona.go.jp/proposal/>)

- ① 飲食を伴う懇親会等
- ② 大人数や長時間におよぶ飲食
- ③ マスクなしでの会話
- ④ 狭い空間での共同生活
- ⑤ 居場所の切り替わり



・厚生労働省ウェブサイト：「新しい生活様式」の実践例

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html)



外出控え

密集回避

密接回避

密閉回避

換気

咳エチケット

手洗い

○本人・家族が感染した場合等の手続きについて

大学内での感染拡大を防ぐため、次に該当する場合は『出席停止』や『自宅待機』の扱いとなりますので、通学を控えるとともに、**対応フロー**に則り大学（コロナウィルス相談窓口 corona_soudan@myu.ac.jp）に連絡のうえ、医療機関等の指示に従ってください。

出席停止	1. 発熱等の風邪症状がある場合 2. 濃厚接触者となった（又は疑いがある場合） 3. 感染者となった場合
自宅待機	1. 保健所から検査対象者として特定された人と濃厚接触した（疑いがある）場合 など 2. 保健所から濃厚接触者と特定された人と濃厚接触した（疑いがある）場合 など

なお、下記の学外ウェブサイト（健康支援室：こころとからだのサポート）から、状況毎のチェックリストと**対応フロー**を確認してください。

(<https://www.myu.ac.jp/campus/heart/>)

○その他の対応について

【図 書 館】事前手続きなしで図書館の利用が可能です。滞在時間やグループ閲覧室の利用等に制限がございますので、詳しくは学内サイトにある図書館ポータルサイトをご確認ください。

【保 健 室】利用前に保健室への電話連絡（022-245-1198）をお願いします。

【学生相談室】直接来室するか、メールや電話で予約をしてからご利用ください。学内サイトにご案内がありますので、併せてご確認ください。

【キャリア開発室】当面の間はチャットツール（Teams）と電話・メールによるご利用に限定しています。対面相談を再開する際には、学内メール等でお知らせします。

【ラーニングコモンズ】遠隔授業を受講するための学習スペースとして開放しています。その他の利用については、学内メール等によるご案内をお待ちください。

【サークル活動】当面の間、対面でのサークル活動は認められません。動植物の世話等、特別な事情がある場合に限りkagai@myu.ac.jp宛に活動申請を行ってください。

※事前に顧問と相談の上、申請メール送信時には顧問をCCに加えてください。

～対面授業への出席に不安のある方へ～

特定の基礎疾患（心疾患・呼吸器疾患（中程度以上の喘息など）・糖尿病・高血圧等の他、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている場合）を有する等の理由で、対面授業への出席に不安のある学生は、所属学群のスチューデントサービスセンター（SSC）副センター長に申し出てください。申し出る先は次のとおりです。

食産業学群：井上達志 教授 inoueta@myu.ac.jp

学生の皆さんへ

夏休みも残り少なくなり、そろそろ後期が気掛かりとなってきました。

宮城県では2回目の緊急事態宣言の後、9/13からはまん延防止措置となりましたがこのままこの感染症が収束する可能性は低いです。

皆さんが協力してくれたワクチン接種に関するアンケートの結果では1回以上接種済み81%、これから接種予定を含めると90%となっています。

しかし、現在蔓延しているデルタ株の感染力は強く、ワクチンを接種していてもブレークスルー感染も起こり、皆さんのような年齢層でも重症化や深刻な後遺症が懸念されますので油断できません。

バスを使って通学している学生さんが心配している状況も良くわかりました。混雑などが改善できないか、西川学群長や事務局の方々が交渉してくださっています。

感染のリスクが最も高い場面は、やはりマスクを外しての会話です。とにかく、これに気を付けてください。知らないうちに大量のウイルスを排出する、あるいは吸い込むことになります。そして確実な換気を今までよりも頻繁に行ってください。

自宅で服用でき軽症で治癒させる錠剤型の治療薬の開発が全世界で進んでいます。もう少しの辛抱と思います。

SSC副センター長 井上達志